

岸和田港湾LPP

2022年度活動報告書

●参加メンバー

東千尋 石田響 井ノ本陽太郎 岩根慎也 西條愛理 羽生裕希 古橋康陽 藤本優衣 新田きらり

●岸和田港湾LPPについて

「みなとオアシス」を活用した持続可能なまちづくりを行っているLPPである。本年度は岸和田港振興協会設立70周年、岸和田市市制施行100周年を迎える記念の年であることを踏まえ、

①SNSでの情報発信（昨年度から継続）

②Sea級グルメの開発

③岸和田市のイベントに参加

を軸として活動を行った。



▲みなとオアシス岸和田HPより

「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核とした街づくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が登録したものをいう。

●年間スケジュール

4月 9月 10月 11月 2月

Sea級グルメ
試作開始

親子祭り

SNS活動
(通年)

▼Sea級グルメ

岸和田市の豊富な素材や郷土料理の中から、港湾の方々と案を出し合い、試作を繰り返した。最終的に岸和田港の「しらす」に着目し、商品開発を進めた。私たちが開発した「しらす揚げ餃子」はしらすの本来の良さを最大限引き出すことが出来たと感じている。毎回試作に行く際の人の変更したことや人数がそろわなかったため試作に時間がかかり、少人数の意見になってしまったことが試作の際の課題だと考えられる。

▲親子祭り当日

自分たちでポップを用意し、低い値段設定や店頭での声掛けをしたことで多くのお客さんを呼び込むことができ、用意していた**120食**の餃子はすぐに完売した。設営、接客に加えて、他の出店ブースの人々と交流したことでLPPの活動を広めることができた。想定より多くのお客さんに足を運んで頂けた為、販売個数を少なく見積もっていたことや準備不足でお客さんを待たせてしまったことが課題であると考えられる。



一年間を振り返って

Sea級グルメの開発を通して、市職員の方々と岸和田港湾の方々とプロジェクトを遂行することができ、同時に商品開発のプロセスを学ぶことができた。SNSの活動では、Instagramのフォロワー数を637人まで伸ばすことができた。現在も岸和田市の情報や自分たちの活動を投稿している。

(12/29時点)

課題として祭り当日の販売数の調整やSNS活動の頻度増加などがあると考え、来年の活動に生かしたいと考えている。

岸和田港湾LPP
活動情報掲載中!



KOWANLPP

